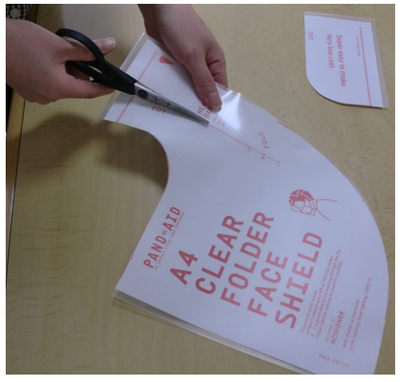
手づくりフェイスシールド

透明なクリアファイルをフェイスシールドにすることができます。必要なのはハサミとダウンロードして印刷した台紙、そしてクリアファイルだけ。当法人でも緊急時のクリアファイルを用意しています。みなさんもぜひおためしを。

PAND«AID

世界中のデザイナーが集まった組織「nosigner.com」が新型コロナウイルス感染症対策として立ち上げたプロジェクト。https://www.pandaid.jp/

ウェブサイト「PAND-AID」の「衛生」ページ［https://www.pandaid.jp/hygiene/face-shield］に移動し、上のファイルをダウンロードする



印刷した紙をクリアファイルにはさむ。ハサミで実線「CUT」を切り取り、「FOLD」を山折りにする（点線S,M,Lはかぶる人の頭の大きさに合わせて切る）

頭にかぶせて完成です。
※フェイスシールドだけでは自分の飛沫が飛散しますので、マスクと併用してください。

精神科医　土田正一郎の

その66　うそ

ウソは体に悪い。バレたらまずいウソはさらに体に悪い。バレた時の恐怖を想像するうちに、立派な妄想が形成されていくから。

そのウソが自分の身を守るためのウソだったら、安全な場所を提供すればきっとそんなウソはつかなくても済むのだろう。だからウソ自体に注目するより、その背景に目を凝らしたい。他人を傷つけたり、貶めたりするウソとの鑑別はしても悪くない。

各事業報告～5月末日現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい　契約／移行5人、B型22人

グループホーム よろこび　利用者数　21人

K.S.C. Juntos　当事者選手　15人
サポートスタッフ　18人

◆法人会員　正会員22人
賛助会員　団体3団体　個人75人
◆今年度寄付金　のべ10人　341,000円
◆寄付物品　布、牛乳パック　ほか

編集後記

半年発刊できず申しわけありません。ところで、この原稿を印刷依頼する直前、テニス選手や俳優、シンガーの方が相次いで精神疾患を公表しました。精神疾患の理解が少しずつ進んでいる現在でも、公表することは勇気がいることでしょう。彼らが自分のペースで生活ができることを祈りつつ、共存共栄できる環境をつくりたいですね。（かわさき）

通信ともに
第82号
2021年6月10日発行
認定NPO法人ともに

住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚

ようやく来た春、農作業本格化

5月20日撮影、くわしくは3ページをごらんください

役員改選しました

5月、当法人の通常総会を書面開催し、すべての議案が原案通り可決しました。

同時に法人役員改選をおこない、理事1人の退任と2人の新任が承認されました。

また総会決議後に第1回理事会を書面開催し、小林敦子理事長の再任が決まりました。いずれも任期は2年です。

コロナ禍の影響でどの業界も大変な経営をしている中、当法人はなんとか経営維持できています。新任の理事の方含め、地域貢献のために努力していきます。今後もご協力をよろしくお願いいたします。

＜令和3年度　法人役員一覧＞（50音順　敬称略　☆は新任）

理事長	小林　敦子	ＮＰＯ法人ともに
理事	神代　直人	ＮＰＯ法人ともに
	黒木　満寿美	ＪＡ厚生連　倶知安厚生病院
	☆後藤　龍太郎	社会福祉法人　京極町社会福祉協議会
	☆髙橋　宏幸	（株）マルテン高橋
	田中　祐司	日本郵便株式会社　倶知安北郵便局
監事	阿部　優子	元倶知安町社会福祉協議会
	中山　誠人	㈱　新　誠

昨年度まで2年間理事として尽力していただいた駒田拓朗さんが退任いたしました。長年の福祉専門職としての知見を活かし、法人に的確なアドバイスをしていただきました。2年間ありがとうございました。

より盤石な運営体制に～総会報告

経営堅調も商品売上厳しく

ワークショップようてい（以下WS）、グループホームよろこび（以下GH）の運営は、両事業とも単年度黒字となりました。特にWSは右表にあるとおり平均利用者数が大幅に増えたことで、開所日数は昨年度比20日少なかったものの訓練等給付費が年間900万近い増額となりました。

WS利用者の工賃につながる「就労支援事業会計」は、農作物のネット販売や製造部のマスク販売が好調だった一方でカフェ売り上げの落ち込みがあり、目標だった工賃増額に至りませんでした。

GHは入院している方や退去者が出たことにより、給付費は200万円ほどの減収でした。

各種規程の見直し

GHの運営規程を見直し、個人情報保護や虐待防止などを盛り込みました。特に日用必需品購入や光熱水費のために入居者から徴収する利用料は、運営規程から独立して規程を作成し、明確な規定を定めました。

WSの運営規程も今年度を目標に見直し、利用者工賃に関する規程を新たに作成します。

コロナ禍でも事業継続を

今年3月当法人職員に陽性者が出たとき、GH事業を中心に一丸となって事業継続を模索し、実行してきました。感染症による本人への人体的影響はもちろん、関連する機関の事業が停止するという社会的影響も痛感しました。

4月には倶知安町からPCR検査キットのあっせんを受け、全職員の検査を実施しました。

国からは各福祉機関に、コロナ禍でも事業を続けるよう要請を受けています。これからも感染対策を徹底しつつ、「感染症は出る」ことを前提とし、事業継続できるための計画をすすめていきます。

大会中止つづく

K.S.C. Juntosの活動も影響を受けています。昨年度はともにカップを含めたすべての大会が中止になりました。体育館が借りられないこともありチーム練習ができず、メンバーは自主練習が中心でした。

今年度も7月3日に開催予定だった北海道チャンピオンズカップの中止が決まりました。現在チームは共和町体育館で定期練習を続けています。

令和２年度会計決算

経常収益	96,632,942円
経常費用	88,831,362円
当期正味財産増減額	7,951,579円
前期繰越正味財産額	52,944,273円
次期繰越正味財産額	60,895,852円
☆固定資産	91,412,897円
☆長期借入金	55,911,983円

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい
昨年度事業活動（カッコ内は前年度比）

☆就労移行支援事業（開所243日）	
一日平均利用者数	4.4人（+1.7人）
3月末時点利用登録者	4人
新規登録者	3人
退所者	0人
☆就労継続支援B型（開所243日）	
一日平均利用者数	15.6人（+2.7人）
3月末時点利用登録者	20人
新規登録者	0人
退所者	4人［就職者なし］
☆工賃平均月額	8,919円（-2,875円）
☆工賃時給換算	252.9円（-50.0円）

グループホームよろこび
昨年度事業活動（カッコ内は前年度比）

3月末時点の利用登録者	21人（-1人）
新規登録者	0人
退去者	1人

コミュニティカフェわっくわくに設置したアクリルパーテーション。感染対策として相談室や事務所などにも設置している。

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい

製造部もネット販売開始

PIPPO

商品販売URL
https://www.pippoec.com/

PIPPO　検索

ワークショップようてい製造部では、5月から「NPO法人PIPPO（ぴっぽ）」さんで手工芸品の委託販売を始めました。

当事業所を含む全国70か所の障がい者支援事業所で製作した商品を買うことができます。会員登録（無料）をしていただくことで、いつでも全国どこでも注文することができます。

倶知安や札幌に寄れないという方も、このサイトでご注文よろしくお願いいたします。

ほかでは手に入らない一点ものの数々、ぜひお買い求めください。

NPO法人PIPPO

2018年設立。東京を拠点にネット販売のほか研修事業、出店代行事業などを手掛ける。
https://pippodonation.com/

販売商品の一部（5月20日現在、売り切れている場合があります）

ターバン

長財布

リバーシブルバッグ

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい

農作業はじまる

4月、ビニールハウス設置作業をしました。敷地内なので管理がしやすいです。

5月、じゃがいもを植えました。畝（うね）をきるのは苦労しましたが、若さと熱意で乗り切りました。

食べチョクでは現在、大豆やカボチャの種を販売中です。「ストライプペポ」と呼ばれるかぼちゃで、植えることもできますが、なんとそのまま食べられるんです！

自然栽培で安心の種をぜひ試してみてください。100グラム1,300円。5月20日時点でのこりわずかです。

食べチョク
TABE CHOKU